

令和6年8月1日

昨年の夏も暑くて、史上最高の暑さとも言われましたが、今年もそれ以上に感じるくらい暑い  
ですね。特に7月から猛暑の日が多いように感じます。大気中の二酸化炭素の濃度が上がる  
ほど猛暑の発生頻度が上がるというのは科学的に示されています。

そして、さらに、夏と冬だけの世界になることも危惧されています。実際、去年は夏から冬に一  
気に変化し、当社のお客様も秋物衣料が売れないという事態になりました。夏と冬だけになる  
ということは、季節が減るということになります。

季節が減るということになればやはり寂しさを感じますね。春夏秋冬、それぞれ言葉にしたり  
行動したり、イベントがあったりということで季節の移り変わりというものを感じながら今まで  
やってきて、人生を過ごしてきただけに、そうはなってほしくないと思いますね。

俳句なんかは五七五という短い句の中で、それぞれの季節の情景が思い浮かぶようになって  
います。

そうそう、竹内まりやさんの「天使のため息」という歌の中にも、  
「春の日のくちづけと 夏の夜のときめきと けんかしたあの秋と 幸せな冬の朝」というフレー  
ズがあります。まあ恋愛物ではありますが、短い言葉でもその時の情景が思い浮かびます。

春夏秋冬それぞれの季節の移り変わりを感じるというのは素晴らしいことだと思います。

気温の上昇、季節の減少という現実問題に直面すると、やはり「環境」に取り組まないといけ  
ないなと思いますね。人から環境、環境と言われてもなかなか動き出さないものですが、  
実際に自分事となれば動こうとしますから。

そういう意味ではいい機会です。

昨年、エコアクション21という環境認証を取得しましたが、取得した時点がスタートです。  
1人でも多くの方が自分事と捉えて環境に取り組んでいければと思うところです。

以上

代表取締役社長 角高哲治